
SECTION 7 の練習問題解答例

公共選択 2020: 浅古泰史

- i. グッド・タイプが改革政策を選択した場合、現状維持政策を選択した政治家は 100% の確率でバッド・タイプである。よって、このような整合的な主観的確率を有した有権者は、現状維持政策を選択した政治家を再選しない。
- ii. グッド・タイプが現状維持政策を選択した場合、現状維持政策を選択した政治家がグッド・タイプである確率は事前の確率と同じ $2/3$ である。これが、有権者の整合的な主観的確率となる。現状維持政策を選択した政治家を再選しない場合には、有権者は 1 を得る。再選した場合には、

$$\frac{2}{3} \times 2 + \frac{1}{3} \times 0 = \frac{4}{3}$$

を得るため、有権者は現状維持政策を選択した政治家を再選する。

NOTE1: このように、グッド・タイプが選択する戦略によって、有権者の最適応答が異なる場合がある。

- iii. 改革政策を選択した場合は、グッド・タイプは再選されて $b - c$ を得る。一方で、現状維持政策を選択した場合でも再選されるため b を得る。いずれにせよ再選されるため、グッド・タイプは改革政策の実行費用の支払いを避けるために現状維持政策を実行する。

NOTE2: グッド・タイプがあえて有権者にとって好ましくない政策を選択する理由は、自身がグッド・タイプであることをアピールし、再選されるためである。しかし、グッド・タイプである事前確率が十分に高いと有権者が信じていてくれる場合には、政策によらず再選されるため、あえてアピールをする必要がない。